

副隊長

第五野戰輸送司令部

第五野戰輸送司令部

昭和十八年十一月三日  
第五野戰輸送司令部

主任

連帶

第五野戰輸送司令部駐屯地業務規定

四覽

 <small>昭和十八年十一月三日</small>	<small>よろ</small> <small>十一月三日</small>
 <small>よろ</small> <small>十一月三日</small>	<small>よろ</small> <small>十一月三日</small>
 <small>よろ</small> <small>十一月三日</small>	<small>よろ</small> <small>十一月三日</small>

押印の日を最辛格後日とす百有上

18.11.6  
第五野戰輸送司令部

五輸駐防第二八號

第五野戰輸送司令部駐屯地業務規定件連

駐屯地諸部隊一般

第五野戰輸送司令部駐屯地業務規定本冊ノ通定

昭和十八年十一月一日ヨリ施行ス

昭和十八年十月三十一日 第五野戰輸送司令部

115

配布區分

配 布 先 司	部 數	配 布 先 小	部 數
林	一	總 五 八 中	一
五 三 兵 站 本 部	二	特 建 三 八 中	一
高 射 五 一 大	一	三 〇 三 野 部	一
水 勤 三 三 中	一	司 〇 〇 勞 務 部	一
陸 勤 七 九 中	一	司 〇 〇 〇 〇 〇	一
五 特 鉄 工 作	一	兵 器 支 廠	一
特 設 水 勤 二 一	一	貨 物 支 廠	一
一 三 兵 站 病 馬 廠	一	自 動 車 支 廠	一
獨 自 五 九 大	一	一 六 一 停 司	一
二 〇 航 空 補 支	一	三 特 水 艦 隊	一
特 設 陸 勤 一 〇	一	一 五 軍 兵 器 廠	一
電 一 九 聯 五 中	一	同 自 動 車 廠	一

患 七 一 小	一		
架 代 二 二 中	一		
一 五 軍 貨 物 廠	一		
一 特 鉄 運 輸	一		
七 航 地 区 出 張	一		
翁 經 〇 〇 張	一		
八 特 鉄 工 務	一		
五 特 鉄 橋 梁	一		
部 内 部 副 經 運 送	五		

備考

本配布區分以外ノ駐屯部隊ニ對シテハ駐屯地會  
報ヲ利用シテ所要ノ事項ヲ口達筆部セシム

計 後 備 〇 四二 八〇



第五野戰輸送司令部駐屯地業務規定目次 頁

第一章 總則 一

第二章 駐屯地司令官の職域 二

第三章 警備 三

第四章 軍秩軍紀風紀 五

第五章 建物軍需資材 三

第六章 防疫衛生 三

第七章 其他 三

# 第五野戰輸送司令部駐屯地業務規定

## 第一章 總則

第一條 本規定ハ第五野戰輸送司令官駐屯地司令官タル場合其駐屯地業務執行ノ為必要ナル一般的事項ニ關シ定メ駐屯地ノ實情ニ即応シテ勤務上必要ナル細部ノ事項ニ就テ別ニ之ヲ定ム

第二條 駐屯地業務ニ關シ本規定ニ於テ定メタル以外ノ事項ニ關シテハ林集團防衛規定(昭和十七年十月二十日合林集團司令部)ニ據ル外所要ニ應ジ衛戍令、衛戍勤務令、作戰要務令、自衛交通規定(昭和十七年六月十五日第十五軍司令部)其他第十五軍ノ定ム諸規定ニ示ス所ヲ準ジ用ス但シ兵器ノ使用ニ就テハ作戰要務令ニ據ル第三條 駐屯地ノ兵、地名ヲ冠シテ某駐屯地ト謂フ

第四條 駐屯地司令部、第五野戰輸送司令部、第五野戰輸送司令部ノ本則トス狀況ニ依リ他部隊内ニ置ケコトアリ

第五條 駐屯地司令部(以下單ニ司令部ト稱ス)ノ業務ハ第五野戰輸送司令部ヲシテ兼務セシムルヲ本則トス但シ第五野戰輸送司令部ニ兵站地區隊ヲ配屬セラレタルトシテ其業務ノ大部ヲ兼務セシムルコトアリ

第六條 司令部業務執行ノ為司令部ニ駐屯地副官ニ置ク駐屯地副官ハ第五野戰輸送副官ヲシテ兼務セシムルヲ本則トス此モ狀況ニ依リ他ノ者ヲシテ兼務セシムルコトアリ

## 第二章 駐屯地司令官ノ職域

第七條 駐屯地勤務執行ノ區域ハ駐屯地司令官(以下單ニ司令官ト稱ス)之ヲ定ム



第八條 司令官ハ駐屯地ノ警備及陸軍ノ秩序ヲ維持シ  
紀・監視並ニ陸軍ニ屬スル建築物・資材等ノ保護及駐屯地ノ防  
疫ヲ管掌ス

第九條 司令官ハ駐屯地ノ業務ニ關シテハ其ノ部(指揮下  
部隊)ニアツサレモト雖モ其ノ地駐屯部隊ニ對シテ之ヲ區處シテ防  
疫ニ關スル限リ關係緬甸政府機關ヲ處ス

第十條 駐屯地ニ一時滯留スル部隊軍人軍屬ハ司令  
官ノ定メタル駐屯地ノ諸規則ニ從フ義務アルモノトス

第十一條 司令官ハ警備上必要ト認ムルトキハ其ノ轄下  
下ニアラサレモト雖モ其ノ地ニ駐屯スル若クハ一時滯留スル部隊ニ對  
シ援助ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 司令官ハ前項ノ對シテ其ノ  
其ノ地ニ駐屯スル若クハ一時滯留スル部隊長及關係緬甸政府機關ノ對シテ移隊  
命令訓示ヲ發シ所要ノ通報報告ヲ求ムルコトヲ得但シ其ノ職務ニ及ブトナク又司令官ヨ  
リ上級先任部隊長ニ對シテ命令訓示ヲ求ムルニ要スルコトナク又司令官ヨ

第十三條 司令官ハ警備上必要アリト認ムルトキハ其ノ駐屯地  
在ル處ニ對シテ地方ノ狀況ニ關スル報告ヲ請求ス

第十四條 駐屯地ノ勤務ニ關シテ司令官ハ駐屯地ニ直接關係防衛司  
但シ司令官當該處兵ヨリ上級先任ヲアラサレモトハ此ノ限ニテナク

第十五條 駐屯地ノ勤務ニ關シテ司令官ハ駐屯地ニ直接關係防衛司  
司令官若クハ其ノ定メタル所駐屯地ニ直接關係警備隊長・監督ヲ受ケ但シ  
司令官カ防衛司令官若クハ警備隊長ヨリ上級先任ナルトモ其ノ直上ノ

防衛關係兵團長・監督ヲ受ケ且此等駐屯地ニ直接關係防衛司  
司令官若クハ警備隊長・要請ニ對シテハ作戰上支障ナキ限リ之ニ應心ス  
ル義務アルモノトス

# 第三章 警備

第十五條 駐屯地警備ニ就テハ其ノ管轄スル防衛司令官若クハ其ノ定ムル所ニ據リ關係警備隊長ノ防衛ニ關スル指揮區區長ヲ要請スル所ニ從ヒ之ヲ行フ

第十六條 駐屯地警備ハ主トシテ駐屯地衛兵及駐屯地巡察ヲ以テ之ヲ行フ

駐屯地衛兵及駐屯地巡察ニ關シテハ左ノ諸項ニ據ルノ外衛兵及衛隊巡察ニ關スル諸規則ヲ準用ス

I 巡察命令ハ當時駐屯地憲便向テ是正スルコトヲ主眼トシテ主ニ要着眼事項(例ハ敬禮答禮空襲警報時待進行動服裝行心姿勢狀況清潔防空施設狀況衛兵勤惰等)則チ理解度衛兵所施設等(中一乃至二件)ヲ明示シ巡察警覺視眼ヲ深刻ニシテ勉メ巡察差出擔任部隊長ハ部下巡察ニ對シ服務前前道若クハ事項

ニ關シ詳細具體的ニ教育シ要スル要スル者眼事項ヲ追加ス  
又 衛兵及歩兵兵器就中彈藥ノ使用ニ關シテハ作戰要務令中二部中四篇第二章ノ規定ヲ準用ス

3 第一種巡察ハ兵器就中彈藥ノ使用ニ就テハ作戰要務令第一部第四篇第二章ノ規定ヲ準用ス又其服務ハ通常中二十四時間トス

4 衛兵及巡察ハ司令官ノ直轄トス但シ狀況依リ司令官ノ定ムル所ニ依リ服務ニ關シ駐屯地ニ在ル他ノ部隊長ノ區區長ヲ受ケシムルコトアリ

5 衛兵司令及巡察勤務ニ服スル者ハ服務中軍人軍屬同等ノ言動ニ關シ褒賞卷ヲ付處罰スルハ非違ヲ發見シタルトキハ規定ニ拘ラズ取敢テ速カニ司令官ニ報告スル如ク勉メ次テ善類ヲ以テ具體的ニ

順序ヲ經テ報告ス  
各部隊宿營地警備ハ自隊兵力ヲ以テスルヲ本則トス



第十七條

駐屯地勤務ニ服スル者ノ直屬系統部隊長ノ衛戍勤

務人第廿二條ニ準シ部下ノ監視スルモノトス

前項ノ外衛戍巡察等ニ差出担任部隊長ハ其ノ職務ノ都度所定ノ教育ヲ施シ注意ヲ與フルモノトス

第十八條

非常警報ニ際シテハ各部隊ノ直下ニ兵ヲ召集シ待機ノ

第十九條

駐屯地ノ防空(高射砲隊及飛行機ヲ以テスルモノ)ヲ除ク以下

同シニ關シテハ七ニ準據スルモノトス

1 駐屯地ノ防空ハ軍官ノ民ヲ通シ司令官之ヲ統制ス

2 各部隊ノ官舎庭隊建設中彈藥燃料油脂等ノ危險物ハ是ノニテラル自衛隊ハニテ徹底的ニ分散シ之ヲ爲害地積下ニ於テシテ

3 各部隊ノ駐屯地ニ到着スルハ速ニ宿舎及其附近ニハ兵器ヲ集積シ

標準

所定ノ人ヲ爲數人死ト爲數頭死ニ實效ニ爲ラセラルハハ小數量死

ニ且短時間隔ヲ少クシテ五ト米タシシタルヲ理想トシ取敢テ待避シ

得ル範圍ニ於テ速ニテ餘カ存スル限リ理想のニ施設ス

壕ニ不徹底ナル掩蓋ヲ附加シ却テ散蕩ノ爲外傷ノ後ヲナルモノト又

徒ラニ樹木等ノ遠蔽下若シハ其ノ附近ヲ利用シタル爲瞬發信管

附屬彈ヲ樹上破裂ニ依リ附近防空壕ニ逃彈子ノ飛散セサルモノト

ニ注意スルヲ要ス

4 偽裝ト遮蔽トニ徹底ス自動車ノ前方硝子ノ及射防止トトシテ

偽裝ト遮蔽トハ特ニ必要ナリ

一般官民ニ對シテハ前項ニ準シ指導ス

5 防空監視網ハ所衛司令官關係ノ施設ヲ利用スルヲ主トシ之トノ緊

按ナル連絡ニ懸ルル一方最寄民防空機關ヲシテ最大限ニ之ニ

6 防空管制ハ警戒及空襲管制ニ分レ別命ナケルニ全編旬常時警戒管制  
制態勢カニ在ルモ、ト駐屯地ニ在リハ空襲警戒報告及防護警戒報告(待  
避對空戰鬥)救護消火等防護作業ヲ為シ警戒(ハ)ヲ發令  
傳達ス

7 空襲警戒報告發令及解除ハ司令部ニ於テ擔任シ駐屯司令部隊為シ  
得ル官民團體之ヲ継承スルヲ本トス

8 前項ヲ為シ司令部ハ防衛司令官關係防空機關ト密ニ連絡スル共  
ニ警戒報告傳達ニ任スル部隊團體ハ各種傳達手段ヲ講ジ置ケルトス  
駐屯地衛兵及各部隊衛兵ハ他ノ手段ヲ以テ空襲警戒報告傳達セラ  
レタル場合ニ於テモ更ニ衛兵所附近ニ成ルヘク通視シ得ルハ交通要點警戒  
報中歩哨及未決ヲ樹立シ交通整理及待避指示遺憶ナカラシム

9 空襲警戒報告傳達の確迅速期多ク為駐屯地ハ於テサイレン汽笛鐘  
等ノ私的使用及警戒報用信稱類ノ使用ヲ嚴禁ス

10 防護警戒報駐屯地ハ局地(部隊或ハ民衆本等)毎ニ其ノ長責  
任ヲ負ハ發令傳達解除ヲ行フモ、トシ其ノ長官ハ空襲警戒報告場  
合ニ準テス

II 燈火管制ハ常時警戒管制ノ態勢トシ空襲警戒報告ハ空襲管制ニカ  
リ速カニ空襲管制ニ移ラシム

警戒管制中屋內ヨリ直射光線、屋外漏洩ヲ嚴禁ス空襲管制中ハ  
屋外ニ於ケル懐中電燈瓦斯灯等其ノ他一切燈火使用ヲ絕對停止ス

12 運行自動車、燈火ハ常時警戒管制態勢カニ置キ空襲管制ニ  
於テ之ハ全ク消燈セシム此等ノ實施ハ十分ナルモ、ハ運行中  
止セシム

自動車燈火、警戒管制施設 左ノ如シ

(イ) 前照燈ハ別紙第一及第二ノ如ク施設ス

(ロ) 側燈ハ點燈セズ

(ハ) 尾燈其ノ他、燈火ハ遮光若クハ透視距離三〇米以テ減



光ス

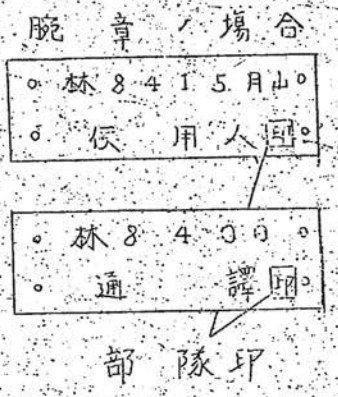
13 荷モ火器ヲ有スル部隊ハ見敵必墜主義ニ徹底シ敵機ノ低空行動ニ際シテハ直ニ之ヲ撃墜ニ勉ムルモノトス  
不一兵ト雖モ好機ニ投スル獨斷撃墜射撃ハ之ヲ獎勵スルヲ要ス

前項 為各部隊ハ隨時對空射撃部隊ヲ編成シ得ル準備ニ在リト共ニ各部隊及各種衛兵ハ適宜對空射撃用掩体ヲ準備スルヲ要ス

第二十條 各部隊ハ防謀ニ關シ規定ヲ設テ駐屯地防謀ニ遺憾ヲカラシムルモノトス防謀上特ニ著意ヲ加ヘキ事項左ノ如シ

1 防謀ニ重點ヲ隊外ニ於ケル將兵ノ言動及書類等隊外流出ニ基テ秘密漏洩防止ニ指向ス  
2 各部隊宿營地ノ標識ニハ其ノ通稱號ト隊長姓名ヲ組

3 合スル本則トス(一例ヲ林八四一五部隊トシテ)各部隊産備人ノ標識ハ左ノ例ニ據ル相違漢字ニ換ヘ平假名ヲ用フルコトヲ得



4 野戰郵便所以外ノ取扱ニ基テ私信及私報ヲ禁止ス  
5 軍ノ機動時期等作戰ノ重要時期ニ特駐屯地ニ滯留スル部隊ハ特ニ左ノ點ニ注意スルモノトス

(イ) 勉メテ分散指揮セシム

(ロ) 行軍、移動等成ルヘク小縱隊トシ且時期的ニ不規  
ナラシムル如ク勉ム

(ハ) 所要ニ應シ前記ニ若クハ三項ノ標示ヲ禁止ス

(ニ) 日朝、日夕、點呼時、道路行進時等ニ於ケル集團の大  
聲、掛聲、軍歌、合唱等ヲ禁止ス

6. 軍部外ニ於ケル印刷等ヲ禁止ス

7. 市街ニ於ケル食堂、慰安婦等ニ對スル巡察ヲ勵行ス

✓ 第二十一條 敵情竝ニ土民其他ニ関スル情報ヲ得若クハ宣

傳物件投下等ヲ認メタル場合ニハ速カニ駐屯地司令部若ク

ハ最寄憲兵隊ニ報告、通報シ爲シ得ル限り落下傘兵ヲ逮

捕ニ勉ム



# 第四章 軍秩、軍紀、風紀

第二十二條 新駐屯地ニ駐屯若シハ一時滞留セントスル部隊ハ成ルヘケ速カニ適任者ヲ司令官ニ先發セシメテ所要ノ連絡ヲ爲スト共ニ部隊到着セハ速カニ適當ナル將校(止テ得サルハ准士官以下)ヲシテ其ノ旨司令官ニ申告セシムルモノトス

部隊駐屯地外ニ移動スルトキ亦前項ニ同シ  
一時駐屯地ニ滞留スル軍人軍屬亦前諸項ニ準テ司令官ニ報告スルモノトス 但シ出發ノ際ハ此ノ限リニアラス

第二十三條 空襲直後被害現場ニ於ケル一般官民ノ統制指導ハ現場ニ於ケル憲兵隊員、各種民防衛團體責任者之ヲ行フモ状況ニ依リ司令官自ラ之ガ統制ニ任ス

第二十四條 防空壕ヘノ待避行動、救護、消火工作ニ對シテ戰鬥、交通整理ニ就テハ各部隊等毎ニ餘暇ヲ以テ極力訓練スル

ハ凡ソ駐屯地對テ不服スル者ハ自ラノ責任ニ於テ取調セシメテ下士官(判任官)以下ノ指揮スル部隊及下士官以下(軍士等)司令官ニテ一時駐屯地ニ滞留スルモノニ對シテハ司令官ニ報告シタル際司令官ニ於テ滞在證明書ヲ交付ス

兵站宿舍長及宿泊所長ハ前項部隊及軍人軍屬ニテ滞在證明書ヲ有セサル者ハ之ヲ宿營セシムヘカラヌ但シ夜運到者スル等事情止ムヲ得サルモノニ對シテハ取敢ヌ宿營セシム日司令官ニ報告シテ滞在證明書ヲ受領セシムルモノトス

第二十六條 駐屯部隊若シハ一時駐屯地ニ滞留スル部隊駐屯地ヲ去ルニテリ隊屬荷物等ヲ駐屯地残置セントスル場合ハ司令官ニ其ノ荷物等ノ種類、數量、監視ノ方法等ヲ定出シ認可ヲ得ルモノトス司令官部ハ爲シ得ル限リ之ヲ適當ナル部隊ヨリシテ保管セシ

ノ以テ使ラニ監視ノ爲ニ兵食ヲ残置スルコトヲ避ケシムルト共ニ厨  
也地ノ秩序維持ノ助成ニ勉ムルモノトス

第二十七條 各民團體ハ一級交通者(汽車、自動車、便乗ヲ  
含ム)ノ爲成ルヘク多クノ待避所トシテ之ニ到ル標識トシテ設置ス

第二十八條 各部隊及各民團體ハ成ルヘク多クノ防火用水  
貯火用砂、ポンプ等ヲ常備シ消火準備ヲ完整ス

現在敵ノ常用焼夷彈ハ約三立ノ砂ニ依リ消火ス  
又非常用トシテ各部隊及民團體ハ燐寸蠟燭類ヲ準備ス

第二十九條 各部隊、民團體及民家ハ屋内ニコソリン等  
可燃物ヲ貯藏セザルモノトス

第三十條 空襲警戒言報中一切ノ自動車ハ之ヲ停止シ避クニ  
退避セシム

第三十一條 空襲ニ依ル被害地ニハ一級ニ關係ナキ軍人軍屬  
并ニ軍部外者ノ立入及附近状況ノ撮影ヲ禁ス

第三十二條 自動車ノ階級標識ハ軍部外者ノ立入ノ妨  
スルモノトス但シ作戰中ハ此ノ限ニアラス

第三十三條 自動車ハ駐止地内運行ニオリ司令官ノ定ムル  
速度ヲ遵守スルヲ要ス但シ夜間並ニ道路ノ屈曲點不良道狹

小道ニ在リテハ規定ニ拘ラス更ニ至當ニ減速シ又偶角通過及追  
越ニホリテハ必ず敬告報器ヲ鳴ラスモノトス

一般ニ夜間自動車ノ運行ハ萬止ムヲ得ザルモノニ止メ特ニ四ノ  
以後ノ運行ハ極力制限スルモノトス

第三十四條 自動車ノ操縦手ハ昭和五年陸普第一七六號  
第一第三條及第六條ニ準據シ若クハ自動車ニ應スル運轉手

證ヲ所持スルカ或ハ第六條但書ノ監督者ヲ附シタル者並ニ  
昭和十七年六月第十五軍司令部制定自動車交通規定第

四條ノ運轉手證ヲ有スル者ナルヲ要ス

第三十五條 救護ニ關シテハ司令部トシテ駐止地附近軍衛生機

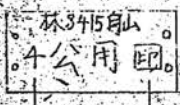


関トノ連繫ヲ密ニシテ適時此等ヲシテ患者療養所患者集  
合所ヲ開設セシメ且患者輸送隊一部利用ヲ計畫スル共ニ各  
部隊及民團體ハ夫々爲シ得ル範圍ニ於テ自隊及地方病院  
利用ニ依ル傷者ノ收療輸送ヲ準備スルモノトス  
又空襲ニ方テハ所要ニ應ジ軍ニ於テ民團體ノ保護ヲ援  
助スルニ勉ム

第三十六條 外出先ニ於ケル軍紀風紀維持ノ爲各隊ハ勉メ  
軍隊内務令ニ據ル第三種巡察ヲ派遣シテ軍紀嚴肅敬禮  
ノ嚴正服裝ノ端正ニ特ニ重點ヲ指向シテ監視セシム共ニ  
緬甸ノ習慣ニ最モ及スル室外ノ裸體隨所ノ排洩過度ノ略  
野ヲ嚴ニ戒ム

第三十七條 各駐屯部隊ノ般外出日ハ概不通過的一日トシ其  
ノ日時ニ關シテ 所要ニ應ジ司令官之ヲ統制ス  
司令官外出日ヲ統制シタル場合駐屯地ニ一時若シテ部隊及

ニシテ臨時ニ要員般外出ヲ許可セ下スルモ 部隊長  
司令官ノ認可ヲ受ケルモノトス右ノ認可ヲ受ケルコトヲ外出セシ  
メタル場合外出者ハ當日慰安所ヲ利用シ得サルモノトス  
第三十八條 下士官以下ノ公用外出者ハ左腕左ノ腕章  
ヲ附着セシム



部隊印

白布 黒書  
大ナル 適宜トス

前項腕章ハ各部隊毎ニ原簿ヲ備ヘ其出納ヲ確證スルモノトス  
共ニ紛失等ノ場合ハ處置ヲ敏捷的確ナラシムルヲ要ス  
狀況止メテ得ル場合ハ腕章ニ代フルニ公用證ニ様式軍隊内務令  
ニ準ス但シ同有部隊名等ヲ避クニ以テス  
第三十九條 日課時限慰安所ノ設置並ニ其ノ使用日割ハ

銃撃射撃干場ハ射撃場ニシテハ射撃部員ノ命令ニ依リテ行ハルルコトヲ定ム

第四十條 駐屯地外ニ於テ掃蕩演習行軍等實施シテ實地ニ空

急射撃手操縦作業等ヲ行フ場合ニハ成ルル限リ實施シテ前記ニ概要

ヲ命令書ニ報告ス

第四十一條 外出中軍人軍屬ノ行動ニ關シテハ既ニ關係諸條ニ

於テ要求セル所ニ據ルノ外左ノ通心得ルモノトス

一 軍人軍屬ニシテ空襲警戒報告ニ遭遇セハ速ク最前奇部隊ニ待避

スルモノトス

一 各部隊(衛兵未明)ハ前項待避者ニシテハ新築ノ通過者ヲモ道

ニテ營内ニ入内ニ避難セシムルヲ要ス

一 軍人軍屬ニシテ死傷者ヲ至シタル場合ニ最前奇部隊ニ於テ之ヲ收

容スルト共ニ所屬部隊ニ通報シ處置ヲ執ル

二 外出者ハ空襲警戒ニ依リ防護處理等ヲ為最前奇部隊ニ要求アリ

ノルモノトス

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二



# 第五章 建物・軍需資材

第四十二條 駐屯地ニ在ル部隊、配宿料夜宿令等、配宿司令部

ニ於テ依テ守テス

前項ノ實施ニ就テハ其都度命令若シテ駐屯地副官、依テ通牒ヲ以テ被貸與部隊(者)ト同一駐屯地内最高直屬上官ニ對シ指示スルモノトス

第四十三條 各部隊ハ前條配宿ノ範圍ニ於テ更ニ細部ノ配宿ヲ

爲スニカリ特ニ左ノ莫ニ留意スルヲ要ス

ノ寺院文化復興ニ關係アル家屋ビルト人ノ家はハ耐火トシテ之ヲ避ケ

ル對空分散ト對空遮蔽トニ徹底ス

ノ寺院ノ境内等ヲ利用スルトモ僧侶ヲ他ニ轉居セシムルカ式ハ之ヲ別棟

別階ヲ與フ

第四十四條 部隊若シテ軍人軍屬ノ供用シカレ建物ノ保存ノ火災

豫防内務等ニ關シ司令官ニ對スル最終責任ハ第四十二條ノ最高

直屬官ニ在リトス

第四十五條 部隊ノ宿泊區域シハ軍隊内務令ノ趣旨ニ基テ便宜

ノ才去ラ以テ營内外ノ區分ヲ明瞭ニ標示スルト共ニ該區域内ニ般

官民ノ立入ルコトヲ嚴禁ス

第四十六條 軍需資材及隊員ノ保存確保ニ關シテハ第十九

條ノ十八條ニ於テハ趣旨ニ據リテ外之ノ道心得ルモノトス

ノ集積ハ枕木上ニ行ヒ且所置ニ應ジ周圍ニ土塚ヲ掘リ排トシテ便ニ

ルト共ニ容易ナル程ヲ施スクモ、ハ雨覆ヲ以テ掩覆シ軍需品

ノ濕潤豫防ニ勉ム

又爆發其ノ他ノ危險アルモノハ相互ニ隣接集積スルコトヲ且風向ヲ

顧慮スルト共ニ衛兵所ノ附近等監視又災害時ノ處理容易ナル

由ヲ留意ス

ノ分散配置ニ關シテハ特ニ徹底的ニ留意ス

第四十七條 駐屯間及一時滯留間各部隊又宿舎所有者

ハ自ラノ責任ニ於テ盡シ家屋及附近ノ清潔整理ニテハ家具等  
保存取扱ハ注意スルニテ進ツテ破損箇所ヲ補修シ附  
近道路ヲ整備スル等常ニ公德心ヲ發揚ト將來利用者  
ノ使トラ圖ルコトニ勉ム

✓第四十八條 駐屯シ或ハ一時滞留シタル部隊駐屯地外ニ移  
動スルニカカリテハ責任ヲ以テ前條ノ清潔補修特ニ備附品  
整備ヲ爲シ且家屋ノ破損狀況紛落失苦クハ破損セル備  
附品等ノ狀況ヲ豫メ司令部ニ報告スルモノトス

司令部ハ關係主任者ヲシテ該兩部隊側將校立會メ下ニ宿  
舎區域ヲ検査セシムルヲ例トス  
第四十九條 駐屯地外ニ在ル兵團部隊等ノ駐屯地ニ連絡所  
等ヲ設ケルニカカリテハ豫メ司令部ニ届出テ建物ノ配當ヲ受ケル  
モノトス

司令部ハ建物ノ節約及警備上ハ必要ニ基キ此等連絡所  
數箇ニ對シ一軒ヲ配當シ且其ノ内務ヲ已處スルモノトシ  
豫メ其ノ派遣部隊ト連絡スルモノトス

### 第六章 防疫衛生

第五十條 駐屯地ノ人馬防疫ニ関シテハ別ニ定ム  
第五十一條 司令部ノ關係主任者ハ屢々軍指定飲食店  
果實店等ニ對シ嚴重ナル検査ヲ行ヒ衛生上遺憾ナカラシム

✓第五十二條 作戰地附近ニハ痲患者多キコトニ注意スルモノトス  
第五十三條 各部隊常用雇傭人(現地人)ハ勉メテ管内ニ  
起居セシム通勤ヲ避ケ

第五十四條 衛生機關ヲ有セザル部隊ノ患者ハ診察等ヲ  
区分ニ關シテハ別ニ定ム



第五十五條 主トシテ防疫(軍)紀振作 爲所要ナル衛生  
巡察(派遣)又  
衛生並ニ終ハ軍醫將校及其ノ隨從者ヲ以テ防疫  
等事 別ニ定ム

### 第七章 其ノ他

駐屯地内於ニ現地及輸送資力ノ設備ニ因テハ五輪  
命令(第五十六條) 駐屯地内軍醫將校及醫務員  
其ノ他之ヲ指シテ及九十九号ノ別冊ニ於テ  
機關ニ更ニ求メルコト本則トシテ其ノ他  
命令(第五十六條) 駐屯地内軍醫將校及醫務員  
其ノ他之ヲ指シテ及九十九号ノ別冊ニ於テ  
機關ニ更ニ求メルコト本則トシテ其ノ他  
第五十七條 必要ニ應ジ命令部ニ於テ駐屯地(官)報ヲ開  
駐屯地勤務上必要ナル望 相互ノ連絡並ニ警備等事  
駐屯地勤務上必要ナル望 相互ノ連絡並ニ警備等事

駐屯地會報ニ駐屯地内一切ノ部隊ノ副官若カハ事務長  
將校(下士官)ヲ長トシテ部隊(隊長)止ムヲ得サレ  
有能適任ナル下士官ヲ出席セシムルヲ本則トシテ必要ニ應ジ各  
部隊長ヲ出席セシムルコトアリ  
第五十八條 各部隊ハ報告(閣)シテ  
防空(閣)スル情報 謀報ヲ得ハ機ヲ失セス司令部ニ報告ス  
駐屯地内ニ於ケル敵機來襲ヲ知リタル場合ハ尤モ事項(閣)シ  
其ノ都度司令官ニ急報スルト共ニ狀況(閣)シテ速カニ更ニ  
上司ニ直報スルヲ要スト  
森林及高各部隊長ニモ速報シ其ノ上配布之令若カハ  
通電先ニ記載スルモノトモ又電報(閣)シテ報告事項 完備ヲ待  
コトナク判明次第逐次補修速報スルモノトモ  
日時

- (一) 場所
- (二) 機種
- (三) 機數
- (四) 高度
- (五) 方向
- (六) 敵機ノ行動
- (七) 損害
- (八) 戰果
- (九) 參考

3. 各部隊ハ駐屯地内ニ於テ對空戰闘ヲ實施セシムル時ニ於テ  
 圖表報ニ準シ司令官ニ報告スルモノトス

4. 以上ノ外前諸條ニ於テ報告ヲ要求シタル事項ヲ司令官ニ報  
 告ス

5. 巡察報告ノ様式別紙第三乃至第五ノ如ク  
 巡察報告ハ勉メテ具體的ニ詳記シ非違者及一般ニ賞  
 讃スベキ者ハ其ノ所屬部隊長ノ名ヲ明記スルモノトス

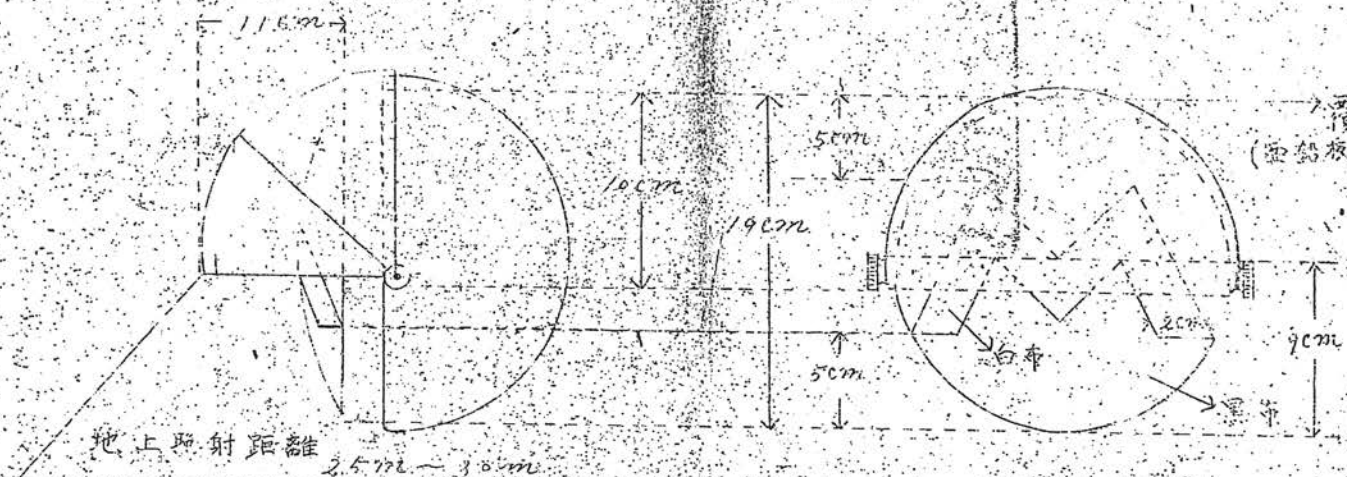
第五十九條 各部隊長ハ本規定及本規定ニ據ル司令官ノ是メタル

其他ノ規定ニ基キ所要ニ應ジ更ニ細部ノ規定ヲ設ケルモノトス  
 司令官ニ提出スルモノトス

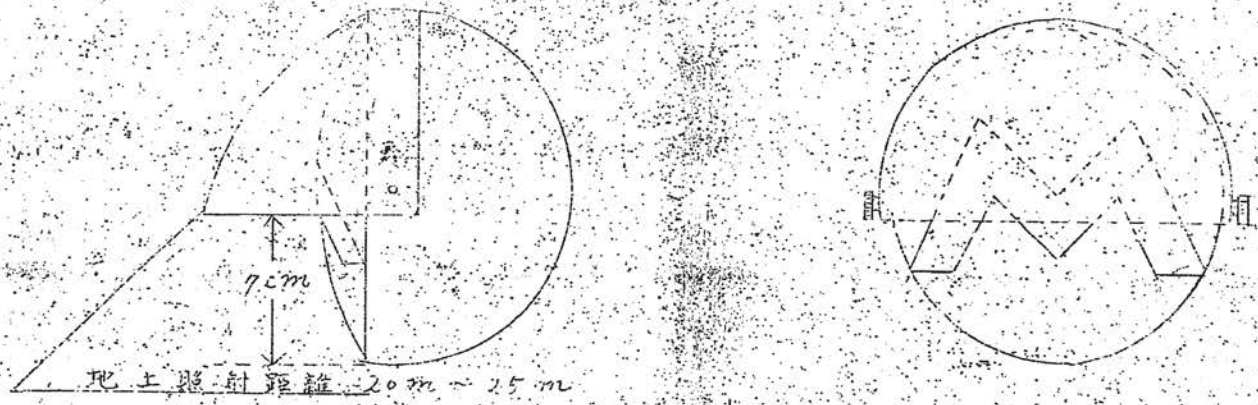


# 陸軍制式自動車遮光裝置

別紙第一

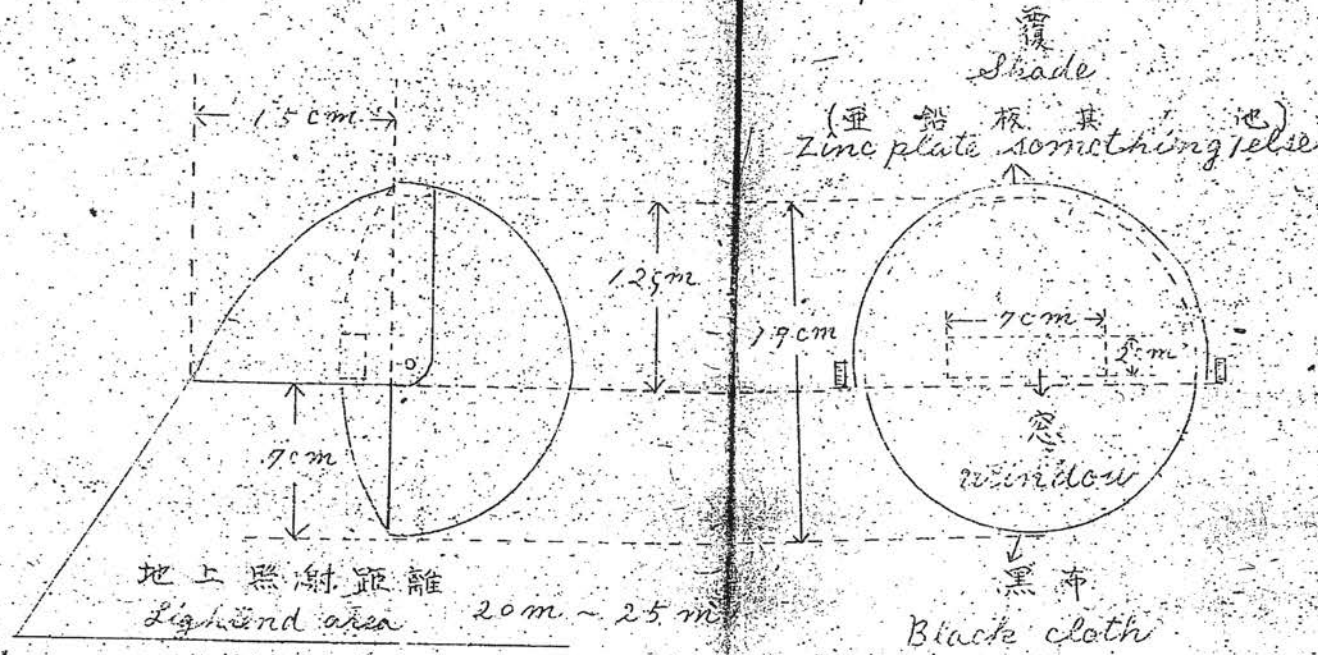


# 陸軍准制式自動車遮光裝置



一般自動車遮光裝置

Motor-car in General





別紙第一 (様式)

昭新  
第一種  
駐屯地  
察報告  
隊名  
固有名  
氏名  
印

巡察日時

〇〇衛兵  
月  
日  
〇〇〇〇  
〇〇〇〇  
〇〇〇〇

巡察經路

巡察狀況

敬禮

服裝

服務

非違  
其ノ他

一報  
事ノ項

將來  
對ノ見

備考

別紙第四(様式)

昭  
和  
〇  
〇  
年  
第  
二  
種  
巡  
察  
報  
告  
地  
名  
隊  
部  
固  
有  
名  
官  
名  
氏  
印

巡  
察  
日  
時  
月  
日  
自  
〇  
〇  
〇  
〇  
〇

巡  
察  
經  
路

遭  
遇  
七  
上  
將  
校  
下  
士  
官  
兵  
數

巡  
察  
狀  
況

敬  
禮

服  
裝

非  
違

行  
為  
其  
他

一  
般  
賞  
讚  
事  
項

將  
來  
對  
見  
意

考  
備



